

水槽実験による河川 avulsion の性質に関する研究

Study for properties of river avulsion through flume experiments

佐藤 隆 [1]; 遠藤 徳孝 [2]

Takashi Satoh[1]; Noritaka Endo[2]

[1] 金大・理・地球; [2] 金大 地球学科

[1] Earth Sciences, Kanazawa Univ.; [2] Kanazawa U. Earth Sci.

沖積河川の形態（パターン）発達の重要な要素に avulsion（短時間で起こる流路の不連続な転移）がある。Avulsion には、新しい流路に全ての流れが注ぐ full avulsion と部分的に流れが注ぎ一時的に流れが2つに分かれた状態になる partial avulsion がある。本研究では、小型平面水路を用いて、avulsion と地形傾斜及び流量との関係を調査した。結果、今回の実験条件の範囲内では、avulsion 頻度は傾斜に依存せず流量のみに依存した。また、流量が増加すると partial avulsion の起こる割合が増え、流路パターンは anastomosing となった。